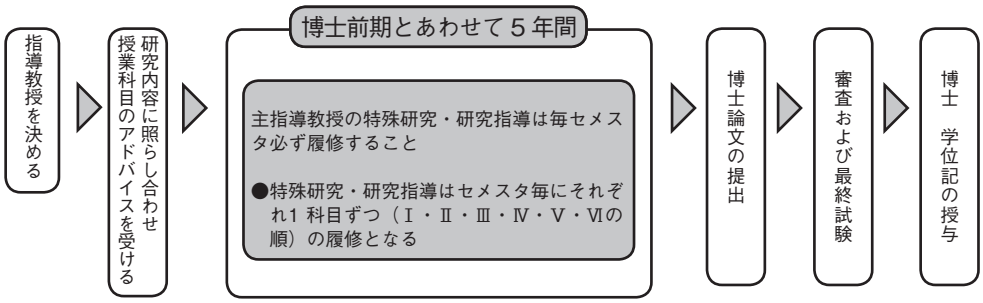
機能システム専攻

後期課程　履修の流れ



※本専攻では、自身の研究を一層深めるために、研究指導の一環として、海外における調査・研究や学会への参加・発表を奨励しています。

機能システム専攻

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・実験の別	単位	担当教員
◇研究指導			
機能システム特殊研究Ⅰ	講義・実験		（各指導教員）
機能システム特殊研究Ⅱ	講義・実験		尼子(兼担)、大久保(兼担)、小河(兼担)、加藤和(兼担)、
機能システム特殊研究Ⅲ	講義・実験		小山(兼担)、田中尚(兼担)、田村(兼担)、寺田(兼担)、
機能システム特殊研究Ⅳ	講義・実験		中野(兼担)、堀内(兼担)、望月(兼担)、吉田善(兼担)、
機能システム特殊研究Ⅴ	講義・実験		松元(兼担)、本橋(兼担)、山内、吉本智(兼担)、和田、
機能システム特殊研究Ⅵ	講義・実験		物部
機能システム研究指導Ⅰ			
機能システム研究指導Ⅱ			（各指導教員）
機能システム研究指導Ⅲ			尼子（兼担)、大久保（兼担)、小河（兼担)、
機能システム研究指導Ⅳ			加藤和（兼担)、小山（兼担)、田中尚（兼担)、
機能システム研究指導Ⅴ			田村、寺田（兼担)、中野（兼担)、堀内（兼担)、
機能システム研究指導Ⅵ			望月（兼担)、吉田善（兼担）

履修方法

博士後期課程

1．各自専攻分野に従い、機能システム研究指導を担当する教員の研究指導を受けなければならない。

2．原則として機能システム特殊研究Ⅰ～Ⅵ、機能システム研究指導Ⅰ～Ⅵの履修は、各学期に１科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。

読み替えについて

学年暦、窓口、博士論文提出方法などは、理工学研究科を読み替えること。

ただし、博士学位論文提出要件は入学年度の大学院要覧を参照のこと。